

2018 年度進捗状況の点検評価への対応状況

2019 年 8 月にいただいた 2018 年度の進捗状況に対する点検評価結果について、その対応を以下に示します。いただいた提案は参考にさせていただき、引き続き取り組みに活かしていきます。

	提 案 事 項	対 応
基本 目 標 1	<ul style="list-style-type: none"> ・異常気象に対して不安を抱く市民が多い。市民一人あたりの二酸化炭素排出量とエネルギー使用量を用いて、それらの削減に向けた啓発活動を地域で取り組む地球温暖化の防止として進めていただきたい。 ・再生可能エネルギー普及に向け電力小売自由化について講習会や情報発信を行ってはどうか。 ・キャラクターや市内出身有名人からの呼びかけ、駅前大型ビジョンでの周知など、町田市民のマジョリティ層に届く施策が必要ではないか。 ・「緑のカーテンづくり」について、より広い周知を図るとともに、町内会や市内の企業にも広く協力要請を行ってはどうか。 ・ヒートポンプを利用しているエアコンやエコキュートは、エネルギーの有効活用、二酸化炭素排出量削減が可能であり、導入支援、情報提供は施策実現に向けて有効である。 	<p>2022 年度から新たな計画がスタートする予定です。いままでいただいた提案を参考に施策や事業の展開を検討中です。</p> <p>地域で取り組む地球温暖化の防止については市民・事業者・市が協力して各々の取り組みを推進していける仕組みを現在検討中（ワークショップでの意見交換や市民・学生・事業者へのアンケート）です。</p> <p>再生可能エネルギーについては、市民の興味関心を今後の施策に繋げるため、2020 年 4 月～5 月に行った市民アンケートの設問に加えました。</p> <p>町田市民のマジョリティ層に届く取り組みとして SNS の運用開始や株式会社ゼルビアとのコラボイベント（スタジアム、市庁舎、駅前など市内各所で）などを積極的に行いました。</p> <p>緑のカーテンづくりに関しては町内会や市内の企業にも広く周知を行い、東京電力パワーグリッド株式会社 多摩総支社 町田事務所をはじめとする企業にも緑のカーテンづくりに参加していただきました。</p>

		市の施設の更新や大規模修繕を行う際は、ヒートポンプの導入などの省エネ対策を積極的に導入しております。
基本目標2	<p><第二次町田市環境マスタープラン> <町田生きもの共生プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の緑地管理の強化が望まれ、市民の積極的な参加を市として支援していったらどうか。 ・市民(特に子ども)が、日常生活圏の中で水辺や生きものと触れ合えるような場づくりを進める事業を展開していただきたい。 ・子ども達に生きもの大切さを伝えて行くため、子ども達の興味を創る施策と、親の意識改革を促す取り組み、高齢者から協力を得る取り組みが必要と考える。 ・より多くの方が自然環境の良さや重要性に気づききっかけになるよう、多くの市民の集まる駅前密集地区などにおいて、スポット的に自然と触れ合える場所や機会の提供をしてはどうか。 ・生物多様性センターの構築に向け、市民からの生きもの生息情報を活用し続けていただきたい。 ・生きもの共生プランの内容を市民がもっと共有できるように、SNS やアプリの PR を強化していただきたい。 ・市民協働による生きもの調査等は、自治会や高齢者の協力を仰いだり、生物関連の学部がある大学や環境保全団体との連携を深めてはどうか。 ・市民が参加できる生きもの調査や学習会の内容を充実させ、PR を積極的に行っていただきたい。 	<p>緑地の保全等に関し、自然観察会の開催や里山整備活動を体験できる場の提供をし、市民の積極的な参加を支援していきます。</p> <p>改訂された東京都湧水マップを利用した湧水の紹介をホームページに掲載し水辺の情報提供を行いました。</p> <p>学校向けにビオトープを活用した出前授業や、虫やメダカなどの水辺の生きもの観察・飼育を行う予定です。</p> <p>SNS やアプリ等のツールを活用し、市街地でも自然との触れ合いが感じられる事業展開も現在進めています。</p> <p>情報拠点については、インターネット上に機能を構築し、ホームページでの発信の他、スマートフォンやアプリを活用して情報の収集をしました。</p> <p>ホームページ上に、町田生きもの共生フォーラムにおける団体の活動周知の場を設けました。生物関連の学部がある大学や団体等と連携については現在検討中です。</p> <p>2019 年度は市民が参加できる生きもの調査や学習会の内容をより充実させるため「町田生きもの探しキャンペーン」や忠生公園での自然観察会、薬師池公園でのザリガニ釣りなど数多くのイベントを実施しました。また、広報紙やホームページ、SNS 等を活用し、生きもの情報を発信しました。今後もご意見を参考に、幅広い世代の方に生きものや自然に関心をもってもらえる方法を検討し実施していきます。</p>
	・まちだ 3R 賞の PR をもっと進めていただきたい。	まちだ 3R 賞について、ホームページや広報紙等で幅広く周知

基本目標 3	<p>・社会の大きな政策課題となっている使い捨てプラスチックの使用削減に向けて、町田市として啓発活動を進めていただきたい。</p> <p>・市民一人ひとりの自覚と行動に繋がるよう、継続的な情報発信と市民に+になる提案を行っていただきたい。</p>	<p>やPRを行いました。</p> <p>プラスチックごみの減量に関して市では資源化を進めているところですが、昨今メディア等でも大きく取り上げられ、市民の興味関心事になっていると認識しており、プラスチックの使用削減に向け、周知・啓発活動等をより一層行っていきます。</p> <p>市民一人ひとりに自分事としてとらえてもらい、行動に繋げてもらえるよう、SNSやホームページ、広報紙、イベント等で継続的な情報発信を行っていきます。</p>
基本目標 4	<p>・町田市の好きな点等をテーマにした作文の募集・表彰をしてはどうか。</p> <p>・生活風景宣言等による良好な景観づくりについては景観まちづくりニュースの配布だけでなく、ホームページでも目立つように、良好な景観の風景写真をたくさん使って紹介していくと良い。</p>	<p>環境面に関わらず町田市の好きな点等をテーマにした、ワークショップやアンケート等を実施しました。現在市内の学生(桜美林大学、和光大学)にアンケートを実施しており、その中で町田市が将来どんなまちになっていたらよいかを聞いております。作文の募集・表彰については今後検討してまいります。</p> <p>景観に関しては南町田グランベリーパークが都市景観大賞を受賞しました。ホームページ上では景観に関する様々なイベントの様子を紹介しました。</p>
基本目標 5	<p>・市民アンケート結果から数値を算出する「環境に配慮した行動を行っている市民の割合」について、取り組み項目を日常生活の心がけでできるもの、実施効果が高いもの等を抜き出して測定してはどうか。また「再生可能エネルギーの選択」の項目を加えてはどうか。</p> <p>・引き続き市が中心となって、情報発信や環境学習・活動が出来る場を提供していく必要があると考える。</p>	<p>いただいたご提案を参考にし、市民アンケートについて大きな見直しを行いました。特に再生可能エネルギーの利用状況や今後取り入れる可能性があるか等市民に幅広く状況を伺いました。</p> <p>啓発は効果が出るまでに時間がかかるので、継続した取り組みや情報発信が必要であるというご意見をたくさんいただきました。普及啓発につきまして、環境に配慮した行動のメリットや効果を市民に理解していただけるよう啓発手法等を工夫し、継続して行っていきたいと考えております。</p>